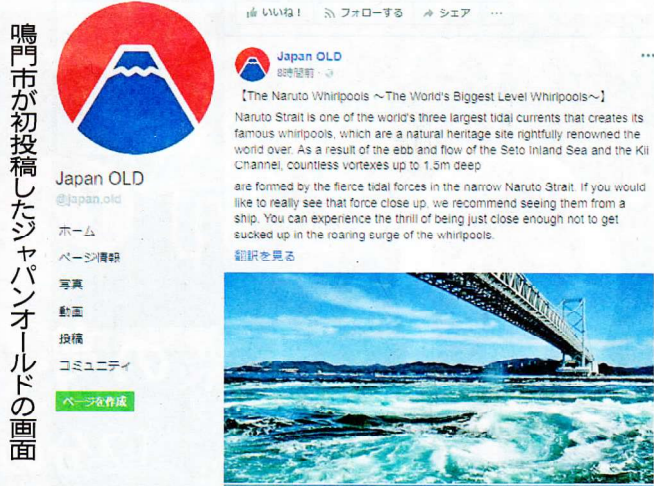


鳴門市、外国人誘客強化

東京の民間2社と連携

外国人旅行者を呼び込もうと、鳴門市は情報発信や受け入れ態勢の強化を図る。世界に360万人以上の読者がいる会員制交流サイト(SNS)に観光情報を提供するほか、タブレット端末による通訳サービスを導入する。市は23日、東京に本社を置く運営会社2社と連携協定を結んだ。両社と協定を結ぶ自治体・企業は四国で初めて。



鳴門市が初投稿したジャパンオールドの画面

情報発信は、海外に

日本の魅力を紹介するフェイスブック「ジャパンオールド」の運営会社デモックスと連携。同サイトの読者はタイやフィリピンなど東南アジアの18〜34歳が76%を占め、1回の投稿で3万〜10万人が閲覧している。

市は週1回、四国遍路や阿波踊り、なるこ金時といった観光資源をPRする原稿と写真を提供し、無料で掲載

日本紹介SNSでPR 観光地に通訳サービス

してもらおう。この日は

鳴門海峡の渦潮を紹介する英文と写真を初投稿した。6月1〜3日のペー

外国人旅行者の受け入れ態勢では、通訳サービスを手掛けるニッポンタブレットと実証実験を行う。市役所で締結式があり、泉理彦市長は「両社と連携し、鳴門の魅力を引き出すことにPRしたい」とあいさつ。

無償貸与されたタブレット端末10台を、市きたい」とあいさつ。役所やドイツ館、観光案内所などに設置。7社長とニッポンタブレットの驚見英利執行役員は「市の観光発展につなぎ、外国人旅行者との会話を手助けした。」

（秋月悠）



協定書を交わす（左から）森田社長、泉市長、驚見執行役員＝鳴門市役所